

令和5年度 第1回千葉県農林公共事業評価審議会

再評価 No. 1

農業農村整備事業  
経営体育成基盤整備事業

うきとがわじょうりゅうさんき

浮戸川上流Ⅲ期地区

君津農業事務所

# 経営体育成基盤整備事業とは

(農業競争力強化農地整備事業)

## 1. 事業の目的

農地の総合的な基盤整備を行い、ほ場条件を改善することにより、担い手への農地利用集積を促進し、意欲と能力のある経営体が、生産性の高い安定した営農を可能とする。

## 2. 事業の実施要件

- (1) 受益面積：20ha以上
- (2) 担い手農地利用集積率：50%以上
- (3) 30アール以上の面積割合：2/3以上

# 事業の概要（浮戸川上流Ⅲ期地区）

## ○事業概要

本地区は袖ヶ浦市南部に位置する水田地帯であり、水稻を中心とした作付けがなされている。

地区中央には基幹農道である広域農道小櫃川地区及び基幹排水路である2級河川浮戸川が東西に通っている。

以上のように基幹農道及び基幹水路は整備されているものの、受益地内は小区画のほ場であり排水不良であること。

また、農道は幅員が狭く大型農業機械の導入ができず、大規模営農が進まない要因となっている。

そこで本事業により、ほ場の大区画化、集約化、乾田化を進めるとともに、大型機械の導入により生産性の向上を図り、将来において安定した農業経営ができるよう整備を行うものである。

事業工期：平成25年度～令和6年度

受益面積：54ha

主要工事：区画整理工 A=54ha（整地工、用水路工、排水路工、道路工）  
暗渠排水工 A=53ha

総事業費：8億6,010万円 ※R5時点（工事雑費、事務費を除く。）

市町村：袖ヶ浦市（99.4%）、木更津市（0.6%）

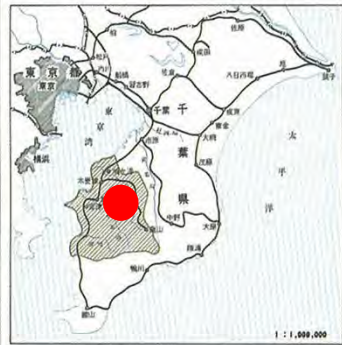
負担区分：国50% 県30% 地元20%



# 位置図 ( 浮戸川上流Ⅲ期地区 )

平成十二年五月

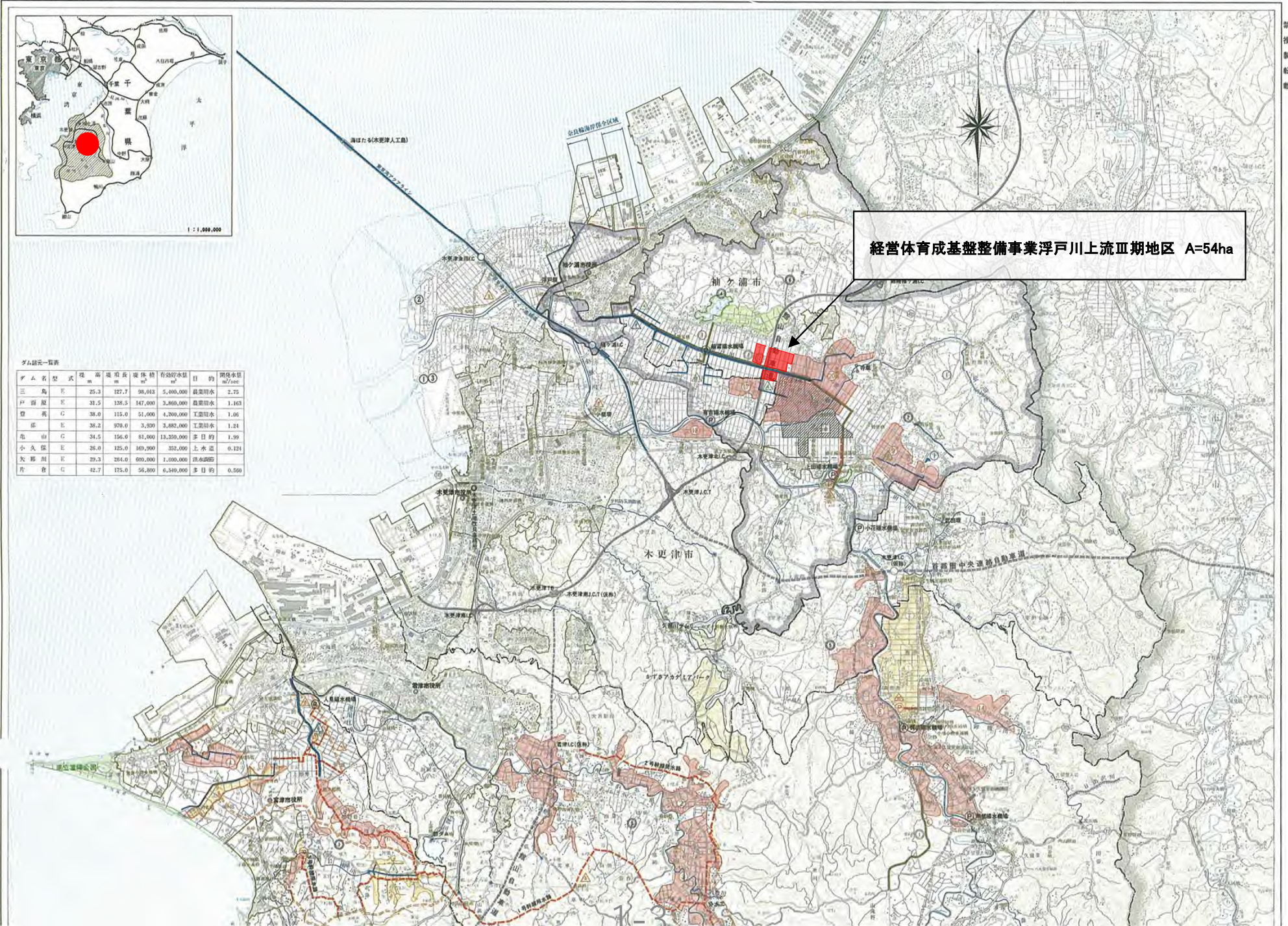
審判製紙



経営体育成基盤整備事業浮戸川上流Ⅲ期地区 A=54ha

ダム誌元一覧表

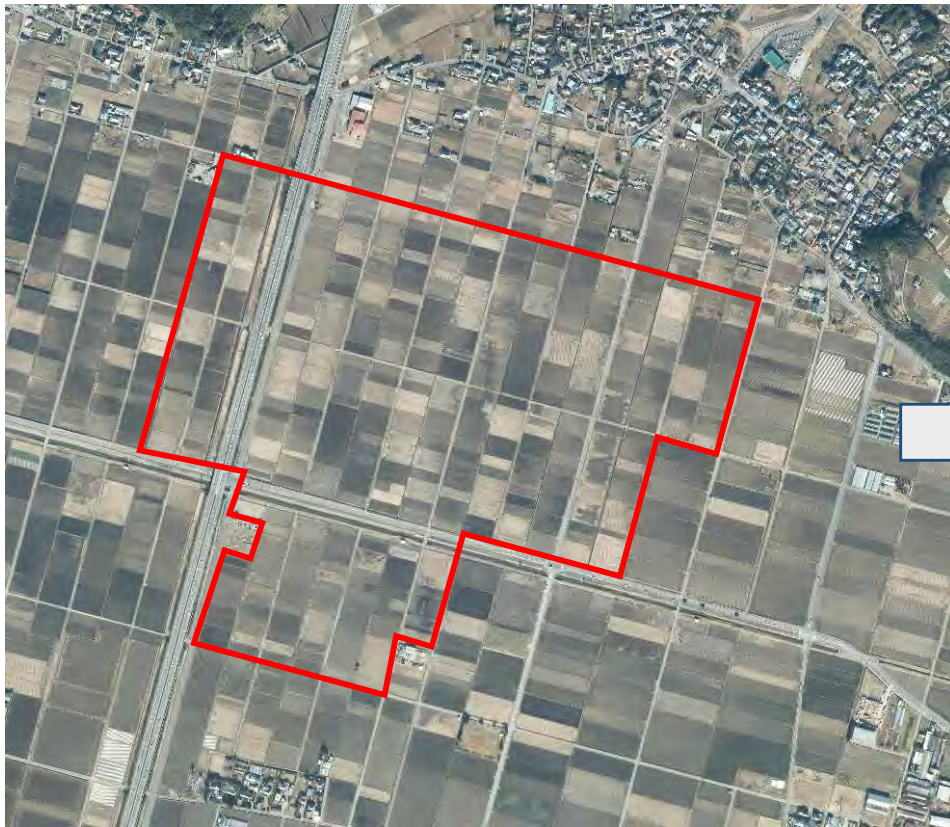
ダム名	型式	堤高 m	堤長 m	堤体積 m <sup>3</sup>	有効貯水 m <sup>3</sup>	目的	貯水容量 m <sup>3</sup>
三島	E	25.3	127.7	98,013	5,400,000	農業用水	2.75
戸面原	E	31.5	138.5	147,000	3,860,000	農業用水	1.163
菅英	G	38.0	115.0	51,600	4,200,000	工業用水	1.06
藤	E	36.2	970.0	3,309	3,882,000	工業用水	1.24
池田	G	34.5	156.0	81,000	13,350,000	多目的	1.99
小久保	E	26.0	125.0	169,900	302,000	上水道	0.124
矢野川	E	29.3	284.0	600,000	1,000,000	洪水調節	
片香	G	42.7	175.0	56,800	6,549,000	多目的	0.569



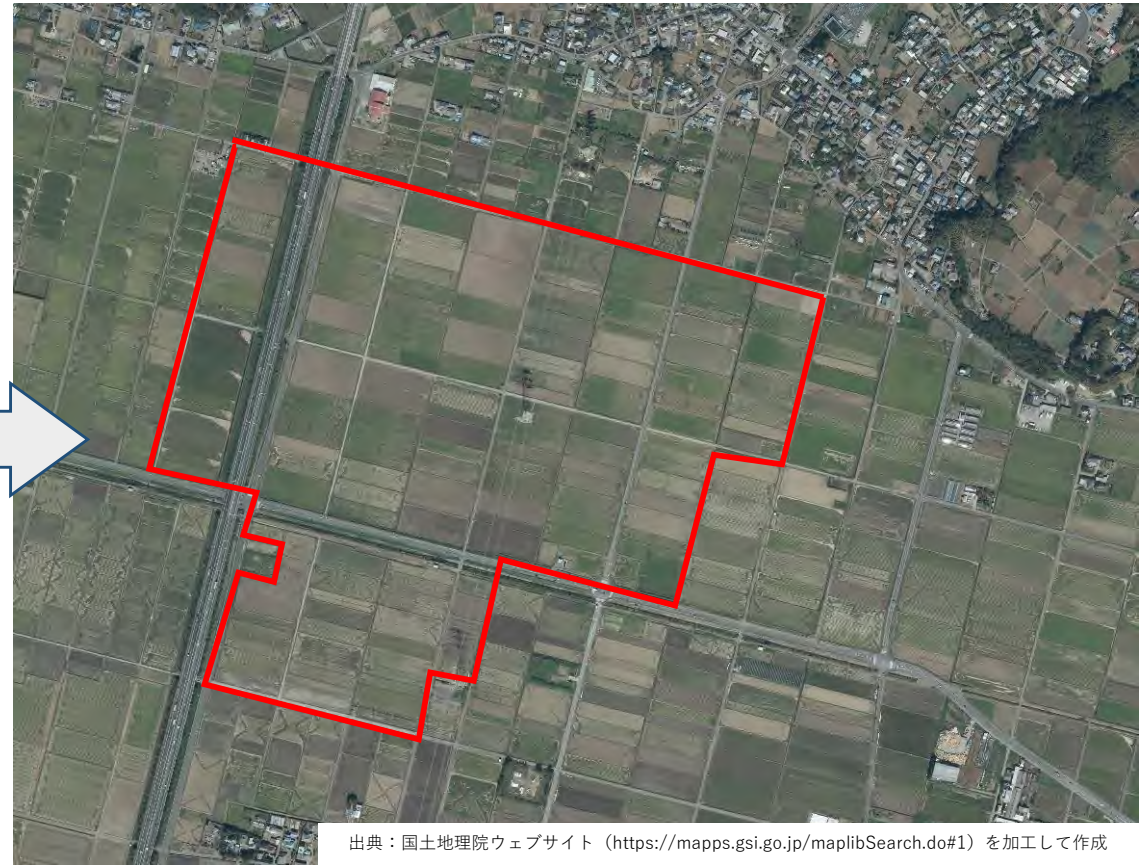


# 事業前後の写真 区割りの拡大

事業実施前 (H24撮影)



事業実施後 (R4撮影)



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>) を加工して作成

1区画 10a

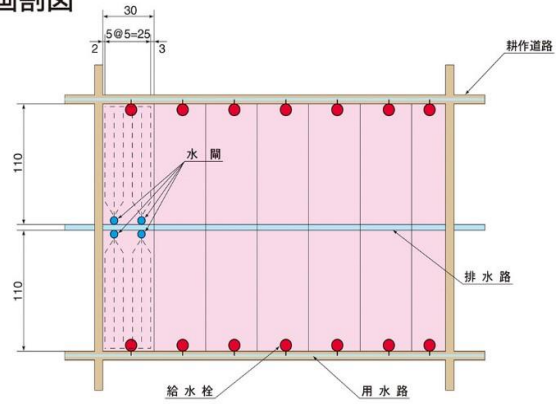


30a

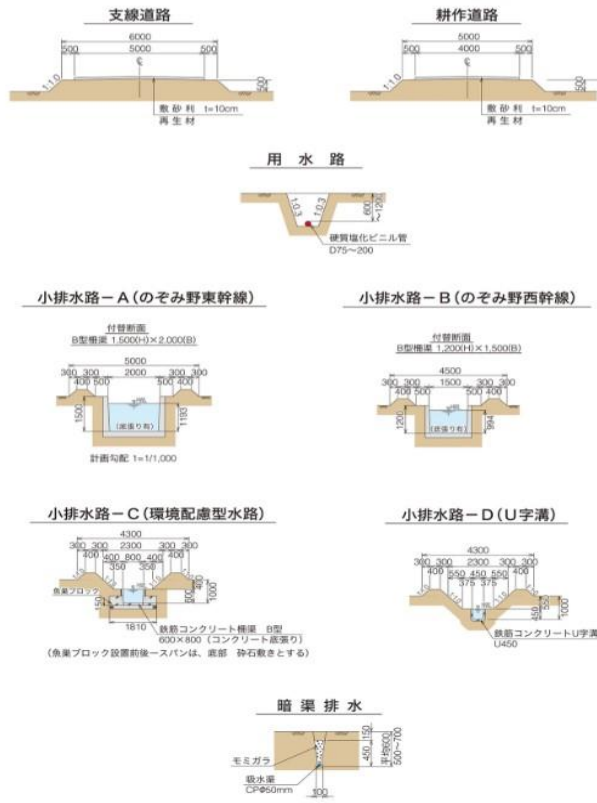


# 農地整備事業(経営体育成型)浮戸川上流Ⅲ期地区計画平面図

## 標準区画分割



## 標準構造図

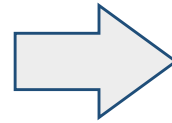


平成二十九年十月 千葉県羽津川農業事務所

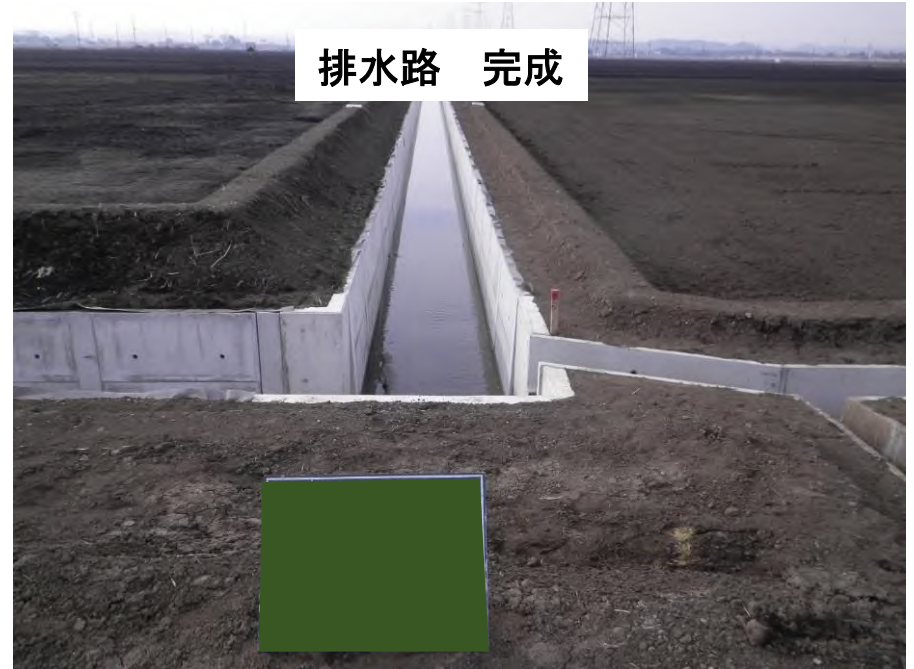


# 事業前後の写真 施工状況

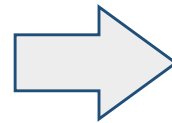
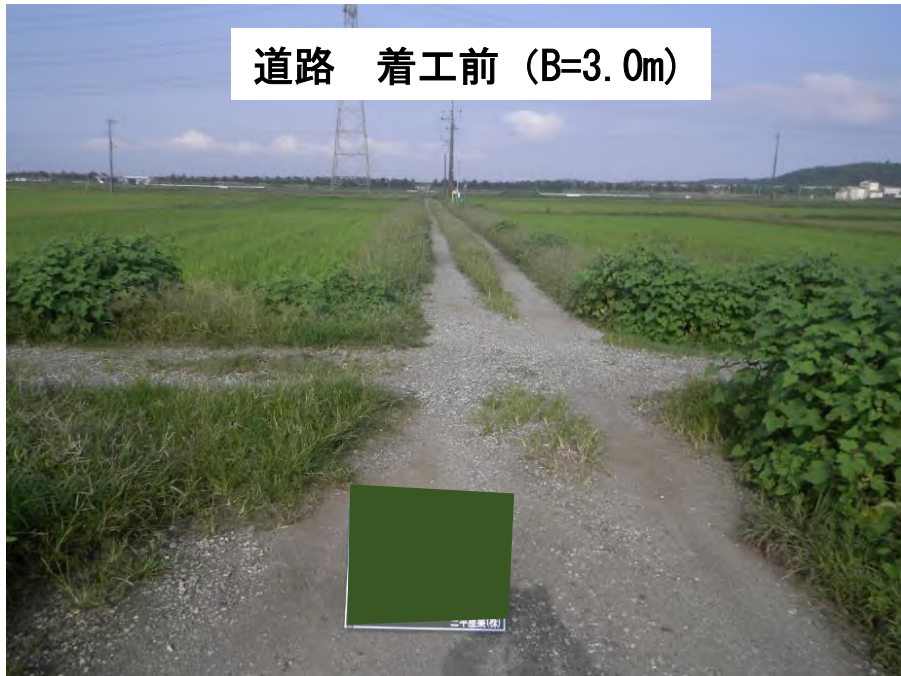
排水路 着工前



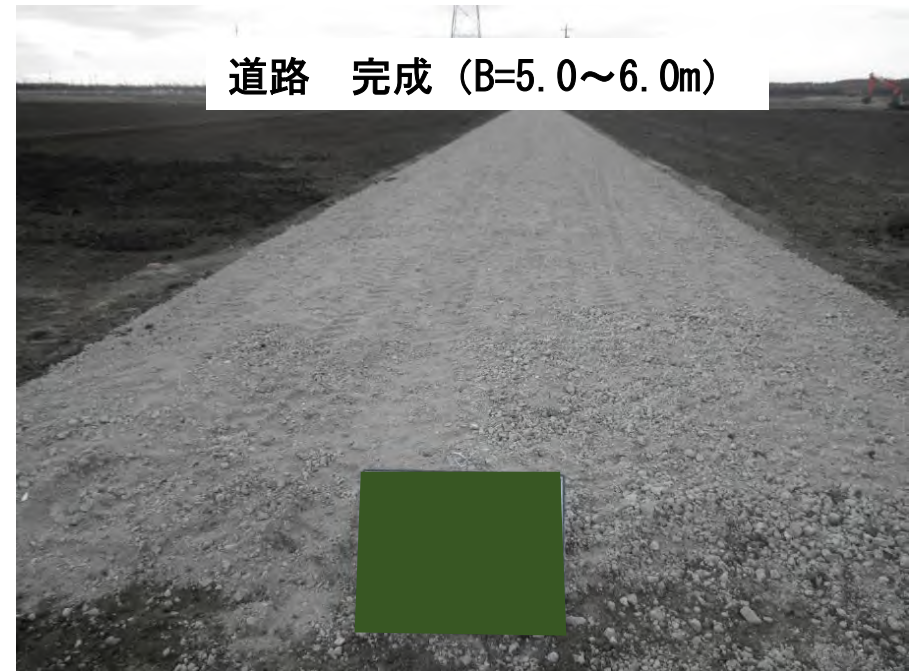
排水路 完成



道路 着工前 (B=3.0m)

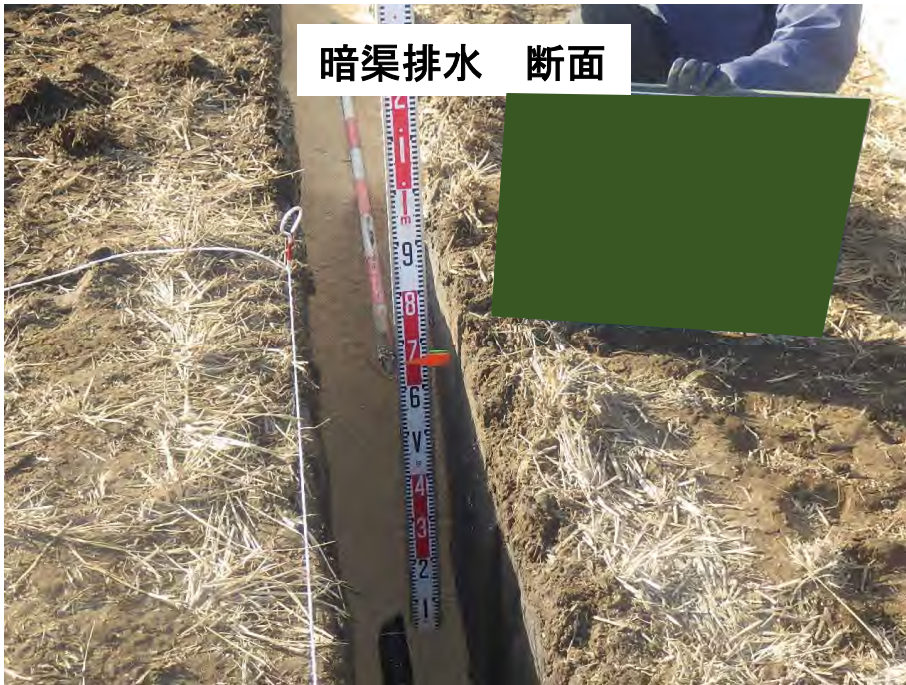


道路 完成 (B=5.0~6.0m)





# 事業前後の写真 施工状況





# 営農状況について

- 整備済のほ場では、営農組合及び個人担い手への農地集積が進み、大型機械の導入による農作業の省力化が進んだ。また、ほ場の条件が良くなったことにより未成熟トウモロコシやレタスの導入が進んでいる。
- 主食用米からWCS用稲などへの転換が図られている。
- 担い手による利用集積率※は採択時の6%から令和4年度末時点で65%まで集積が図られており、事業計画時の達成率は118%と大きく上回っている。
  - ※「農用地面積に占める担い手への利用集積面積の割合」



# 営農状況について（作付状況）

		耕地面積	現況 (ha) (平成24年)	計画 (ha) (平成32年)	現在 (ha) (令和5年8月)	達成率 (%)
	田		51.4	51.4	51.4	
	畑			1	1	
	合計		51.4	52.4	52.4	
表作	田	水稲	51.4	34.7	41.3	119.0
		飼料用米		12.2	5.0	41.0
		大豆		4.0	0.0	0.0
		未成熟とうもろこし		0.5	0.1	20.0
		WCS			3.0	
		(田 表 小計)	51.4	51.4	49.4	96.1
畑	畑	落花生		0.7	0.0	0.0
		春キャベツ		0.3	0.0	0.0
		未成熟とうもろこし			0.5	
		さつまいも			0.5	
		(畑 小計)	0	1	1.0	100.0
裏作	田	小麦		4.0	0.0	0.0
		冬レタス		0.5	1.5	300.0
		食用なばな		0.1	0.0	0.0
		冬キャベツ		0.5	0.0	0.0
		ブロッコリー		0.1	0.0	0.0
		(田 裏 小計)	0	5.2	1.5	28.8
計(耕地利用率)			1.00	1.00	0.96	96.2



レタス作付け状況



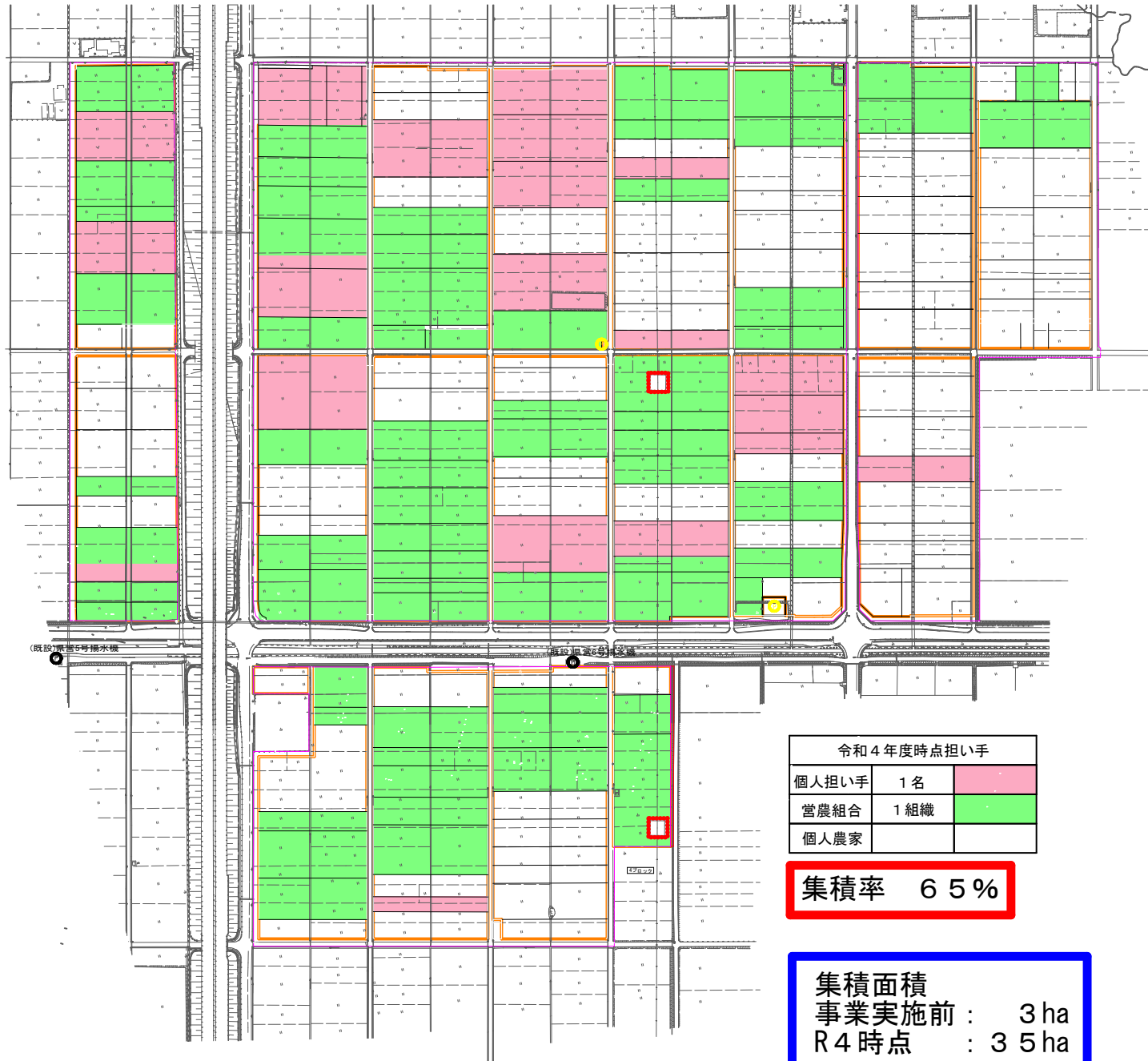
レタス作付け状況



WCS用稲の刈取り状況



# 担い手への集積状況図





# 再評価の概要（再評価までの経緯）

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	備考
経過年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
計画工程	[Yellow bar]												
実施工程	[Red bar]												
<p>①換地及び地区界の確定に向けた調整</p> <p>②区画整理工事、暗渠排水工実施</p> <p>③確定測量実施</p> <p>④行政界の変更に伴う関係者との協議</p> <p>⑤公図空白地の対応に伴う関係者との協議</p> <p>⑥行政界の変更に伴う総務省との事前協議、市議会・県議会上程の調整</p> <p>⑦換地処分に向けた作業</p>													
凡 例													
計画工程	[Yellow bar]												
実施工程	[Red bar]												
時間を要した期間	[Light red bar]												



# 行政界の変更





事業再評価地区調書

事業所管課	耕地課
-------	-----

番号	事業区分	採択年度	地区名	所在地	計画期間	実施期間	経過年数	特記事項	処理方針(案)
	経営体育成 基盤整備事業	H25	浮戸川上 流Ⅲ期	袖ヶ浦市・木更津市	H25～R6	H25～R6	10年		継続
(1)	全 体		R5年度(見込み)まで		進 捗	次 年 度 以 降		備 考	
	事 業 量	事業費	事 業 量	事 業 費	%	事 業 量	事 業 費		
事業 進 捗 状 況	生産基盤及び関連事業 区画整理54.0ha 暗渠排水53.0ha	百万円 860	生産基盤及び関連事業 区画整理53.2ha 暗渠排水52.1ha	百万円 742	86.3%	区画整理付帯 N= 1式	百万円 118	受益面積 A=54.0ha 水田53.0ha 畑 1.0ha	
(2)	地元及び関係機関	意 向 及 び 意 見			(3)	事 業 名 等		進 捗 状 況	
意 向	袖ヶ浦市、木更津市 浮戸川沿岸土地改良区	本事業により、農地の高度利用と農業経営の 安定が図られることが期待されるため、市及び 改良区とも本事業の早期完成を要望している。			関 連 す る 事 業	な し		—	
(4)	(当初H25)		(増△減)		(5)	農地中間管理機構の制度 を活用した農地集積を積極 的に進め、計画29.8haに対 し、34.5haの集積が進めら れた。	(6)	総費用総便益比 採択時 1.20	
事業計画 内容の 変更等	区画整理	54.0ha	—	ha	社会経済 情 勢 の 変 更 等		費 用 対 効果要因 の 変 化		
(7)	平成25年度に採択された本地区は、工事及び換地業務も順調に進み、現在、工事ベースで100%、事業費ベースで86.3%の進捗となっている。 事業完了のネックとなっていた行政界の変更も問題が解決され、市議会及び県議会に上程する準備を進めている。 これらのことから、事業完了の見込みも立っており、本事業を早期に完了させ、地域の農業生産基盤の強化及び地域農業の活性化を図ることができる。								
備 考									